

# Bridolly

text and  
paintings by  
Kenji Shimizu

vol. 8 月刊ブリドリ



秋草舞利鳥図 F6



第八回

志水堅二 しみずけんじ

1971年名古屋市生まれ。オリジナルキャラクター『ブリドリ』をモチーフに絵画、立体などを制作。東西のアートフェア、画廊、百貨店などで個展多数。

オフィシャルサイト

<http://www.kenji-shimizu.com>

## 永遠不変

近年、画面に日本色が強く出ているが、僕の日本好きは割と古い。

10代の頃は大きな扇面4点に四神のいる四季を描き、大学では宗達の唐獅子図のような板絵に憧れ、日本家屋の廃材戸板に風神雷神図を描いてみたりもした。

卒業後しばらくは日本意匠から離れたが、日本の精神的な部分を表現しようと試みた。振り返ってみると、絵を描き始めてから今日まで日本的なものがテーマから外れたことはないのだ。

ただ、これも意識してのことではなく振り返ってみてあらためて気づいた事だ。

二十数年絵を描いていると、新しい試みだと思ってやったことが「あ、前に似たことやったな…」と感ずることがある。

忘れていた学生時代の風神雷神図も、鳳凰ブリドリを北斎の天井画と同じように板絵で描いてみようとして試みていて「あれ？前にやったような…」と思い出した次第である。

表現方法はいろいろ変わっていくが好きなものの核は不変で、

形を変えながら、一周してまた戻ってくる。

そしてまた「ああ、これ昔やってたな…」と思い、次の周回に入り経験を上乘せしてまた現れる。

螺旋状に昇っていく感じだろうか。

おもしろいものである。

ああ、今は何周目だろうか…

Shimizu 